

# 令和元年度事業報告書

## 【概況】

### I 会員数の推移

公益社団法人伊勢原市シルバー人材センター（以下「センター」といいます。）における令和元年度末現在の会員数は799人となっています。

企業等における定年延長や再雇用制度の定着などを背景に、会員数は、平成25年度の1,012人をピークに減少傾向にあり、昨年度末現在と比較すると17人減少しています。特に60歳代の新規入会が減少していることから、平均年齢が徐々に上がっている状況にあります。

センターが地域の要請に応え続けていくためには、会員の増強とともに、植木の剪定、襖や障子の張替えなど、技術・技能を必要とする就業後継者の育成を進める必要があることから、次のような取組を行いました。

- 会員による「一人一会員入会運動」の展開
- 会報「シルバーいせはら」やホームページによるセンター情報の発信
- 植木剪定の後継者を育成する「剪定見習い制度」の創設・運用開始

### II 契約額の推移

令和元年度における契約額は約3億400万円となり、約2億7,500万円が会員への配分金（派遣事業にあっては賃金）となっています。

令和元年度における請負・委任と派遣を合わせた契約額は、昨年度と比較すると約1,200万円減額（△3.9%）となったものの、生産人口の減少に伴う人手不足などを背景に、派遣事業の相談件数や契約額は、ここ数年増加傾向にあります。

### III 魅力あるセンターづくりの推進

センターでは、会員による自主的で活発な親睦活動が展開されるなど、就業を通じた生きがいづくりとともに、会員同士のふれあいによる居心地のよいセンターづくりが進められています。

また、より魅力的なセンターとしていくため、令和元年度には、次の新たな取組が行われました。

- 「シルバーフェスタ2019」の開催
- 「シルバー会員優待制度」の創設・運用開始

### IV 新型コロナウイルス感染症の感染拡大

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大した影響で、センターにおいて予定していた次の入会説明会や講習会等を中止せざるを得ない状況になりました。

そうした中、会員の健康と安全を確保するために必要な対策を講じるとともに、感染拡大防止に配慮して、会議室での入会説明会を中止する一方で、入会希望者にセンターの設立目的や仕組みを掲載した説明資料を郵送し、理解・納得した方の入会申込みを受け付ける方法で入会手続きを継続しました。

- 入会説明会（令和2年3月18日）
- 接遇講習会（令和2年3月25日）
- 普通救命講習会（令和2年3月）
- 既存会員接遇講習会（令和2年3月）
- 松の手入れ講習会（令和2年3月）
- 通学路交通整理員研修（令和2年3月）（）内は、開催実施の予定日・時期

## 1 会員の状況

### (1) 会員数〔各年度末現在〕

区分	男	女	計
R元年度	610人	189人	799人
H30年度	635人	181人	816人
対前年比	96.1%	104.4%	97.9%

### (2) 会員の年齢層別構成〔各年度末現在〕

区分	性別	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	計	平均年齢
R元年度	男	5人	78人	232人	211人	84人	610人	75.0歳
	女	11人	33人	70人	65人	10人	189人	73.2歳
	計	16人	111人	302人	276人	94人	799人	74.5歳
	構成比	2.0%	13.9%	37.8%	34.5%	11.8%	100%	—
H30年度	男	11人	108人	230人	206人	80人	635人	74.3歳
	女	9人	41人	71人	52人	8人	181人	72.7歳
	計	20人	149人	301人	258人	88人	816人	74.0歳
	構成比	2.5%	18.3%	36.9%	31.6%	10.8%	100.0%	—

## 2 事業実績

区分		受注件数 (件)	就業実人員 (人)	就業延人員 (人日)	配分金 (円)	契約金額 (円)
請負・委任	R元年度	2,683	595	55,420	265,448,905	291,694,702
	H30年度	2,693	634	60,087	277,058,470	304,305,008
	対前年比	99.6%	93.8%	92.2%	95.8%	95.9%
公共	R元年度	88		17,764	96,819,865	105,158,219
	H30年度	64		19,025	102,658,128	111,827,551
	対前年比	137.5%		93.4%	94.3%	94.0%
民間事業所	R元年度	541		32,531	132,665,425	144,281,610
	H30年度	575		35,863	139,515,973	151,245,852
	対前年比	94.1%		90.7%	95.1%	95.4%
一般家庭	R元年度	2,053		5,061	35,636,771	41,888,693
	H30年度	2,053		5,112	34,444,987	40,738,055
	対前年比	100%		99.0%	103.5%	102.8%
独自事業	R元年度	1		64	326,844	366,180
	H30年度	1		87	439,382	493,550
	対前年比	100%		73.6%	74.4%	74.2%
派遣事業	R元年度	30	41	2,462	10,178,022	12,817,095
	H30年度	31	50	2,551	9,871,108	12,706,988
	対前年比	96.8%	82%	96.5%	103.1%	100.9%
合計	R元年度	2,713	636	57,882	275,626,927	304,511,797
	H30年度	2,724	684	62,638	286,929,578	317,011,996
	対前年比	99.6%	93.0%	92.4%	96.1%	96.1%

〔注釈〕 派遣事業における「配分金」は「賃金」となります。

〔補足〕 区分で示している主な業務内容

公共：自転車駐車場管理業務(指定管理業務)、武道館管理業務(指定管理業務)、  
公民館施設管理業務、行政センタースポーツ施設管理業務 等

民間事業所：会社等から受託する清掃作業、室内軽作業、スーパーの品出し作業等

一般家庭：植木剪定、除草作業、清掃作業、襖・障子・網戸張り、刃物研ぎ、家事援助等

独自事業：リサイクル家具の修理・販売

派遣事業：放課後子ども教室活動サポーター、企業等への会員派遣

### 3 総会及び理事会

#### (1) 定時総会

- ・開催日 令和元年6月21日(金)
- ・会場 伊勢原シティプラザ1階ふれあいホール
- ・表彰式 正会員10年表彰53人、役員表彰1人
- ・議題 平成30年度事業報告、平成30年度収支決算、役員の選任
- ・報告事項 平成30年度補正予算(第1号・第2号)、平成31年度事業計画、平成31年度収支予算、平成31年度資金調達及び設備投資の見込み

#### (2) 理事会

##### ▽第1回理事会

- ・開催日 令和元年5月31日(金)
- ・会場 伊勢原シティプラザ1階会議室
- ・議題 職員の給与に関する規程の一部改正、施設管理等の就業期間に関する要綱の一部改正、表彰要綱の一部改正、平成30年度事業報告、平成30年度収支決算、役員候補者の選出、令和元年度正会員10年表彰、令和元年度役員表彰、令和元年度定時総会
- ・報告事項 委員会活動状況、新規入会正会員

##### ▽第2回理事会

- ・開催日 令和元年6月21日(金)
- ・会場 伊勢原シティプラザ1階会議室
- ・報告事項 基盤強化計画の進捗状況

##### ▽第3回理事会

- ・開催日 令和元年10月11日(金)
- ・会場 伊勢原シティプラザ1階会議室
- ・議題 令和元年度補正予算(第1号)、令和2年度予算編成方針
- ・報告事項 理事長・常務理事の職務執行状況、委員会活動状況、新規入会正会員

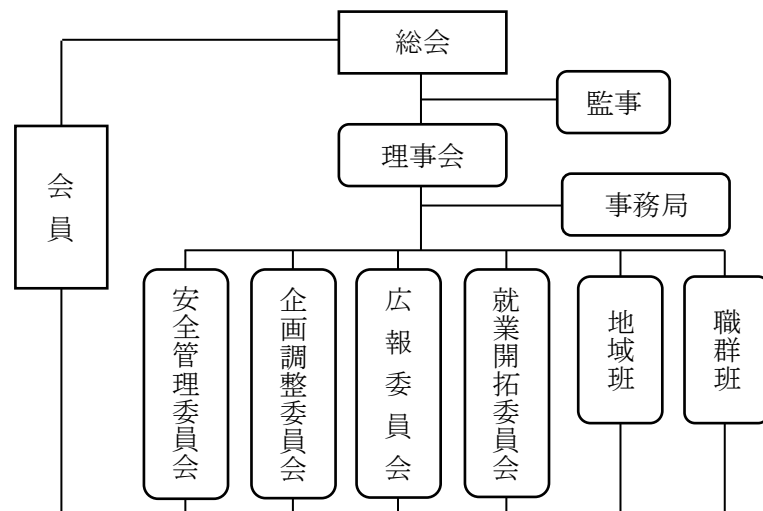
##### ▽第4回理事会

- ・開催日 令和2年2月27日(木)
- ・会場 伊勢原シティプラザ1階会議室
- ・議題 職員の給与に関する規程の一部改正、委員会設置規程の一部改正、財務規程の一部改正、理事及び監事候補者選考要綱の一部改正、職群班設置規程の制定、令和元年度補正予算(第2号)、令和2年度事業計画、令和2年度収支予算、令和2年度資金調達及び設備投資の見込み
- ・報告事項 理事長・常務理事の職務執行状況、委員会活動状況、新規入会正会員

#### (3) 定期監査

- ・開催日 令和元年5月10日(金)
- ・会場 伊勢原シティプラザ1階会議室
- ・内容 平成30年度決算監査

【伊勢原市シルバー人材センター組織図】



#### 4 その他運営組織

##### (1) 委員会

正会員で構成する4委員会を組織し、センターの更なる活性化に向けた活動が行われました。

また、4委員会の正副委員長会議を開催して、委員会の名称や所掌事項の見直し作業が行われました。

##### ① 安全管理委員会

安全・適正就業パトロールの実施、「安全だより」の発行 等

##### ② 企画調整委員会〔令和2年度から「会員活性化委員会」に改称〕

「シルバーフェスタ」の企画・開催、未就業会員アンケート調査の実施・分析、日帰りバス旅行の企画 等

##### ③ 広報委員会

会員の就業先へ出向いての写真撮影やインタビューなどによる年4回の会報「シルバーいせはら」の発行 等

##### ④ 就業開拓委員会〔令和2年度から「就業・会員拡大委員会」に改称〕

市内事業所等へ出向いての新たな就業場所の確保、会員拡大に向けた活動 等

##### (2) 地域班

8地域班（伊勢原、大山・高部屋、比々多、成瀬、大田、桜台、石田・緑台、竹園の小学校区単位）を組織し、センターとの連携による効率的な会報等の配付とともに、会員の連帯強化が図られました。

ア 各地域班によって、会報「シルバーいせはら」やセンターからの配付物が各会員宅に直接届けられました。

イ 各地域班では、総会や役員会などを開催し、地域班内の会員同士が顔を合わせたの情報交換が活発に行われました。

ウ 全地域班の班長・副班長会議を2回開催し、事務局職員との有意義な意見交換が行われました。

・第1回会議 令和元年7月5日（金）

・第2回会議 令和2年2月14日（金）

##### (3) 職群班

植木班、除草班、リサイクル班の3つの職群班を組織し、発注に対して迅速で効率的な対応の実現とともに、活発なリサイクル事業を展開しました。

## 5 主な事業の概要

### (1) センターの情報発信

新規入会の促進と会員の就業機会の拡大等を図るため、積極的な情報発信を行いました。

#### ① ホームページによる最新情報の発信

センターの事業や活動内容をより多くの方々に知っていただき、受注拡大と新規入会に結び付けていくため、ホームページの掲載データを適時更新するとともに、掲載内容の充実を図りました。

また、発注者からの就業依頼、入会希望者からの説明会への参加申込みについて、ホームページ上からの Web による受付を実施しています。

#### ② 会報「シルバーいせはら」の配付

広報委員会を中心に、会員の就業状況やセンターの実施事業等を掲載した会報を年4回（4月・7月・10月・1月）作成し、地域班を通じて会員への個別配付を行うとともに、10月号は新聞折込みによる市内全戸配付を行いました。

また、市役所をはじめとする関係機関への配付、市民の方々にもご覧いただけるよう公共施設等への配架を行いました。

#### ③ パンフレットやチラシの活用

センターの案内パンフレットやチラシを作成し、就業開拓委員の企業訪問時等における配付をはじめ、公共施設に配架・掲出するなど、センター活動に関する周知を図りました。

#### ④ イベントへの参加

道灌まつりや公園緑花まつりに参加し、受注の拡大や新規入会を促進するため、センターの事業・活動内容の周知に努めました。

#### ⑤ 新聞等へのセンター活動掲載

新規事業（シルバー会員優待制度）の創設に伴い、新聞への掲載等によるセンター活動の広範な周知が行われました。

### (2) 入会説明会・接遇講習会の開催

入会希望者に対して、センターの設立目的や仕組みを理解したうえで入会していただくため、「入会説明会」を11回開催しました。

また、入会後における接客マナーや言葉遣いの基本を学ぶ「接遇講習会」を4回開催しました。

コース	入会説明会		接遇講習会	
	開催日	受講者	開催日	受講者
4・5・6月	4月11日(木)、5月14日(火) 6月13日(木)	30人 (41人)	6月20日(木)	21人 (28人)
7・8月	7月11日(木)、8月13日(火)	13人 (7人)	8月16日(金)	10人 (7人)
9・10月	9月12日(木)、10月10日(木)	20人 (14人)	10月23日(水)	13人 (10人)
11・12月	11月14日(木)、12月12日(木)	26人 (17人)	12月25日(水)	18人 (10人)
1・2・3月	1月14日(火)、2月13日(木) 3月18日(水)中止	19人 (18人)	3月25日(水) 中止	0人 (20人)
計		108人 (97人)		62人 (75人)

〔会場〕 入会説明会：伊勢原シティプラザ1階会議室 ( )内は前年度の受講者数  
接遇講習会：伊勢原シティプラザ3階研修室

### (3) 会員拡大・退会抑制

会員の拡大と退会の抑制を図るため、より魅力あるセンターに向けた取組を進めました。

#### ① シルバー会員優待制度

会員が市内の優待事業所を利用すると各種サービスが受けられる「シルバー会員優待制度」が創設されました。また、この制度は、会員による市内での消費を拡大することで地域の活性化に貢献することも目的としたもので、趣旨に賛同していただいた優待事業所が徐々に増えています。

・優待事業所 23 事業所（令和元年度末現在）

#### ② 就業相談の実施

会員の就業率をより高めるため、個別就業相談（予約制）を実施しました。

・実施期間 令和元年 9 月 18 日（水）

・相談者数 12 人

### (4) 就業機会の確保・拡大

前述したセンターの情報発信のほか、会員の活躍の場を広げるため、就業機会の確保・拡大に努めました。

#### ① 就業開拓委員会による企業訪問

就業開拓委員会が市内企業・事業所や団体等を訪問し、会員の就業機会の拡大に努めました。

また、工業団地組合等を訪問した際には、加盟企業に対し、定年退職後のセンターへの入会を促すチラシの貼付を依頼するなど、入会促進に関する活動もあわせて行いました。

#### ② 人材派遣事業の推進

神奈川県シルバー人材センター連合会と連携して実施する人材派遣事業について、市内事業者に積極的に周知した結果、相談件数が増加するとともに、新たな業務を受注しました。

しかしながら、人材派遣に関する相談件数が増えている一方で、それに応じる会員がおらず、契約に至らないものも多くありました。

#### ③ 職業紹介事業の推進

職業紹介事業についての普及啓発に努めるとともに、雇用による就業を希望する会員の職業紹介体制を整えています。

令和元年度には契約に至ったものではありませんが、会員と求人事業所との面談が行われています。

### (5) 安全・適正就業の推進

会員が健康で安全に就業できるよう、安全意識の高揚と就業中における事故防止に向けた取組を進めました。

#### ① 安全・適正就業パトロールの実施

会員の安全確保、適正就業の点検を目的に、安全管理委員会の委員とともに事務局職員が、会員が就業している事業所や一般家庭、公共施設等の現地パトロールを実施しました。

・実施回数 18 回

・箇所数 37 か所

#### ② 安全就業研修会への参加

神奈川県シルバー人材センター連合会が主催する安全就業研修会に参加し、高齢就業者の安全対策について再確認しました。

・開催日 令和元年 8 月 29 日（木）

- ・開催場所 かながわ労働プラザ
- ・主 催 神奈川県シルバー人材センター連合会
- ・研修内容 講演「交通安全講習会～見る・見せる・予測する～」
- ・参加者 安全管理委員 2 人、事務局職員 1 人

③ 県連合会コンクールへの参加

会員等の安全就業意識を高めるため、神奈川県シルバー人材センター連合会主催で実施された「安全就業標語」の募集に対し、センターの会員が作品を応募しました。

- ・応募期間：令和元年 9 月 6 日～同年 10 月 31 日
- ・応募作品数：「安全就業標語」21 点（応募総数：17 拠点 344 点）

④ 会報やチラシ配付による安全意識の啓発

会報「シルバーいせはら」に、安全管理委員会の活動報告や発生した事故の状況を掲載するとともに、安全啓発に関する通知を全会員に送付するなど、安全意識の高揚に努めました。

また、安全管理委員会が「安全だより」第 2 号(令和元年 11 月 25 日発行)を作成し、全会員に配付して、事故発生状況や安全に関する情報を共有しました。

⑤ 事故発生状況

種別	令和元年度	平成 30 年度	前年比較
傷害事故	6 件	5 件	1 件増
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ出し時後ろ向きでの段差つまずき転倒骨盤骨折 1 件</li> <li>・段差つまずき転倒骨折 1 件</li> <li>・段差つまずき転倒脱臼 1 件</li> <li>・剪定時脚立落下骨折 1 件</li> <li>・強風時バイク転倒骨折 1 件</li> <li>・刈払機接触負傷 1 件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蜂刺され 2 件</li> <li>・自転車転落骨折 1 件</li> <li>・チェーンソーでの手指負傷 1 件</li> <li>・歩行転倒骨折 1 件</li> </ul>	
賠償事故	7 件	4 件	3 件増
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粗大ゴミ搬出時床損傷 1 件</li> <li>・刈払機飛石車窓破損 2 件</li> <li>・刈払機による現場事務所損傷 1 件</li> <li>・駐車車両ボンネット損傷 1 件</li> <li>・塗装作業時の駐車車両へのペンキ飛ばし 1 件</li> <li>・刈払機によるゴルフ場水道管破損 1 件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・刈払い機飛石車窓破損 2 件</li> <li>・清掃作業中の表彰状盾破損 1 件</li> <li>・駐輪場保管自転車破損 1 件</li> </ul>	
計	13 件	9 件	4 件増

[注] シルバー保険適用事故のみ掲載

⑥ 新型コロナウイルス感染症対策

ホームページや通知文等による会員への新型コロナウイルス感染予防の注意喚起とともに、必要に応じた感染予防対策を講じました。

(6) 技能講習会の開催

高齢者の就業に必要な知識・技能を習得するため、講習会等を開催しました。

① 刈払機安全作業講習会

- ・開催日 令和元年 5 月 28 日 (火)
- ・開催場所 伊勢原シティプラザ 3 階研修室
- ・対象者 会員 (就業者限定)
- ・受講者 29 人

- ② ハウスクリーニング講習会
  - ・開催日 令和元年8月27日(火)
  - ・開催場所 伊勢原シティプラザ1階会議室
  - ・対象者 会員
  - ・受講者 13人
- ③ 交通整理員研修会
  - ・開催日 令和元年9月23日(月・祝日)
  - ・開催場所 伊勢原自動車学校
  - ・対象者 交通整理新規就業会員
  - ・受講者 1人
- ④ 家の保全・修理講習会(網戸張替・大工)
  - ・開催日 令和元年9月26日(木)
  - ・開催場所 八幡台作業所
  - ・対象者 会員(就業者限定)
  - ・受講者 14人
- ⑤ 自転車乗り方講習会
  - ・開催日 令和元年11月29日(金)
  - ・開催場所 伊勢原南コミュニティセンター
  - ・対象者 会員
  - ・受講者 10人
- ⑥ 筆耕講習会
  - ・開催日 令和元年12月5日(木)
  - ・開催場所 伊勢原シティプラザ3階研修室
  - ・対象者 会員・一般市民
  - ・受講者 20人(会員13人、一般市民7人)

(7) 技能後継者の育成

会員の高齢化が進むことで、技能・技術を有する会員の減少が予測されることから、多くの受注実績がある植木剪定の後継者育成を進めました。

○ 「剪定見習い制度」

ベテラン会員から剪定の技術や知識、発注者との接し方などを習得する「剪定見習い制度」を創設し、運用を開始しました。

・剪定見習い就業申出者 3人(令和元年度内)

(8) 出張刃物研ぎの実施

会員の就業機会の確保とセンターをアピールするための窓口ともなり、また一方で、出店事業所への誘客促進につながるなど、双方に利益をもたらす考え方から創設された、事業所の一角に会員が刃物研ぎを行うブースを出店する「出張刃物研ぎ」を実施しました。

① J Aいせはら「あふり～な伊勢原店」

- ・実施日時 毎月第1火曜日 午前9時～午後2時
- ・実施回数 12回
- ・発注者数 385人(前年度329人)
- ・作業本数 800本(前年度662本)

② J Aいせはら「あふり～な比々多店」

- ・実施日時 毎月第3火曜日 午前9時～午後2時
- ・実施回数 11回
- ・発注者数 190人(前年度173人)



・作業本数 425 本（前年度 387 本）

〔注〕 「JAいせはら」は令和元年11月1日から「JA湘南」

## 6 財政基盤の安定・強化

### (1) 配分金の見直し

令和元年10月1日をもって行われた消費税率の引き上げ及び神奈川県最低賃金の引き上げに合わせ、配分金の見直しを行いました。

・消費税率 8% ⇒10%

・神奈川県最低賃金 1時間当たり 983 円 ⇒1,011 円

### (2) 国の助成制度の活用

令和元年度には、国（厚生労働省所管）のキャリアアップ助成制度〔注〕を活用し、助成金を得ることができました。

〔注〕 キャリアアップ助成制度とは、非正規雇用労働者を正社員化、処遇改善の取組を実施した事業主に対して国（厚生労働省所管）が助成する制度で、「正社員化コース」や「賃金規定等改定コース」などがあります。センターにおいては、平成29年度に嘱託職員1人を正規職員としたことが、「正社員化コース」の対象となりました。

### (3) 財源確保と効率的・効果的な事務執行

センターの円滑で安定的な事業運営を図るため、会員の就業機会の確保・拡大とともに、効率的で効果的な事務の執行や経費節減に努めました。

## 7 独自事業の実施

市環境美化センターとの協定に基づき、ごみの減量と資源の有効活用を図るため、粗大ごみのリサイクル事業（リサイクル家具修理・販売）を展開しました。

令和元年度は、公園緑花まつりや市との共催によるリサイクルフェアなどにおいて、リサイクル家具の販売を行いました。

#### ① 公園緑花まつり

・実施日 令和元年5月11日（土）・12日（日）の2日間

・場 所 総合運動公園・市立体育館小体育室

・販売数 497 点

#### ② リサイクルフェア

・実施日 令和2年1月18日（土）

・場 所 資源リサイクルセンター

・販売数 88 点

## 8 会員主体の活動

### (1) シルバーフェスタ 2019

企画調整委員会の発案・企画により、センター設立以来初となる「シルバーフェスタ 2019」が開催されました。当日はあいにくの荒天の中での開催となりましたが、参加者も来場者も楽しめた催しとなりました。

・開催日 令和元年10月22日（火・祝日）大雨・強風

・場 所 伊勢原シティプラザふれあいホール及び入口付近

・内 容 フリーマーケット、障子張り実演、入会相談コーナーの設置ほか

・来場者 100 人

### (2) 一人一会員入会運動

会員による「一人一会員入会運動」により、新たな仲間が増えました。

・紹介会員 17 人

・新規入会 18 人（昨年度は6人）

(3) ボランティア活動

地域社会への貢献とともに、センターの存在を地域に知っていただくため、ボランティア活動を実施しました。

① 伊勢原シティプラザの植木剪定

道灌まつり開催に先立ってのシティプラザの構内にある植木の剪定

- ・実施日 令和元年9月25日(水)
- ・参加者 11人(昨年度は15人)

② 伊勢原観光道灌まつり会場清掃美化作業

伊勢原観光道灌まつり会場(メイン道路)の清掃美化作業

- ・実施日 令和元年10月5日(土)・6日(日)の2日間
- ・参加者 延べ33人(昨年度は延べ38人)

③ 子ども見守りボランティア

各小学校の通学路等を巡回しての子ども達の見守り

- ・登録会員 40人(令和元年度末現在。伊勢原6人、桜台5人、竹園8人、成瀬5人、石田4人、緑台5人、大田2人、比々多2人、高部屋3人)
- ・従事日数 年間月平均10.09日/人

(4) 福利厚生事業

会員同士のふれあいや親睦を図るため、企画調整委員会が企画した日帰り旅行を実施しました。

- ・ツアー名 「日本一の大吊橋とヤクルト富士裾野工場見学」
- ・開催日 令和元年9月9日(月)
- ・参加者 37人

(5) 同好会活動

令和元年度には、5つの同好会において、活発な活動が行われました。

同好会名	参加者	活動状況	主な活動場所
ハイキング	延べ 160人	4月18日(木)	鐘ヶ岳～広沢寺温泉(17人)
		5月24日(金)	鎌倉(26人)
		6月6日(木)	長津田～すずかけ台(23人)
		9月20日(金)	箱根(19人)
		10月17日(木)	早川～根府川(19人)
		11月22日(金)	高幡不動(19人)
		12月12日(木)	雪印海老名工場見学(22人)
		1月10日(金)	横浜綾瀬・八福神めぐり(20人)
		2月13日(木)	高幡不動尊(14人)
麻雀	25人	4回/月(毎週火曜)	伊勢原南公民館
卓球	23人	4回/月(毎週火曜)	青少年センター体育館
パソコン	22人	4回/月(毎週火曜)	中央公民館
水墨画	6人	1回/月(第4水曜)	高部屋公民館

〔補足〕尺八同好会、史跡めぐり同好会、囲碁・将棋同好会は休会中。

## 貸借対照表

令和 2年 3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	480,029	509,034	△ 29,005
普通預金	42,946,090	43,599,194	△ 653,104
定期預金	3,512,542	3,512,542	0
未収金	18,675,904	21,156,864	△ 2,480,960
前払金	596,797	675,813	△ 79,016
流動資産合計	66,211,362	69,453,447	△ 3,242,085
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(2) その他固定資産			
車輛運搬具	3	4	△ 1
什器備品	2	2	0
電話加入権	382,200	382,200	0
預託金	24,360	32,010	△ 7,650
その他固定資産合計	406,565	414,216	△ 7,651
固定資産合計	406,565	414,216	△ 7,651
資産合計	66,617,927	69,867,663	△ 3,249,736
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	21,002,305	22,854,318	△ 1,852,013
前受金	109,865	1,428,876	△ 1,319,011
預り金	310,289	488,948	△ 178,659
流動負債合計	21,422,459	24,772,142	△ 3,349,683
負債合計	21,422,459	24,772,142	△ 3,349,683
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
2. 一般正味財産	45,195,468	45,095,521	99,947
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
正味財産合計	45,195,468	45,095,521	99,947
負債及び正味財産合計	66,617,927	69,867,663	△ 3,249,736

# 正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	291,694,702	304,305,008	△ 12,610,306
受取配分金	265,448,905	277,058,470	△ 11,609,565
受取材料費等	4,805,647	4,948,407	△ 142,760
受取事務費	21,440,150	22,298,131	△ 857,981
労働者派遣事業等受託収益	1,164,400	1,367,814	△ 203,414
労働者派遣事業等受託収益	1,164,400	1,367,814	△ 203,414
受取会費	1,650,000	1,658,000	△ 8,000
正会員受取会費	1,650,000	1,658,000	△ 8,000
受取補助金等	24,702,000	24,576,000	126,000
受取連合交付金	10,739,000	11,036,000	△ 297,000
受取(市)補助金	13,243,000	13,540,000	△ 297,000
受取(国)助成金	720,000	0	720,000
雑収益	1,189	1,188	1
受取利息	1,189	1,188	1
経常収益計	319,212,291	331,908,010	△ 12,695,719
(2) 経常費用			
事業費	311,878,003	322,452,475	△ 10,574,472
支払配分金	265,448,905	277,058,470	△ 11,609,565
支払材料費等	4,548,029	4,452,612	95,417
給料手当	17,701,333	17,232,076	469,257
臨時雇賃金	5,636,776	5,513,404	123,372
法定福利費	2,836,348	2,705,602	130,746
退職給付費用	1,128,000	1,122,000	6,000
福利厚生費	32,883	43,820	△ 10,937
会議費	11,313	8,984	2,329
旅費交通費	12,598	18,448	△ 5,850
通信運搬費	1,366,271	1,159,715	206,556
減価償却費	1	3,405	△ 3,404
什器備品費	35,860	176,251	△ 140,391
消耗品費	444,487	317,043	127,444
修繕費	247,750	218,405	29,345
印刷製本費	667,052	936,360	△ 269,308
光熱水料	439,693	387,860	51,833
賃借料	3,802,435	3,756,106	46,329
保険料	2,655,320	2,520,820	134,500
諸謝金	754,640	940,000	△ 185,360
租税公課	1,129,200	1,109,600	19,600
支払負担金	0	250,568	△ 250,568
組織活動助成費	366,600	370,100	△ 3,500
委託費	2,513,964	2,047,728	466,236
教材費	0	4,917	△ 4,917
支払手数料	98,545	93,132	5,413
雑費	0	5,049	△ 5,049

# 正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
管理費	7,234,341	7,002,051	232,290
役員報酬	537,000	531,000	6,000
給料手当	4,028,332	3,900,472	127,860
法定福利費	650,446	640,082	10,364
福利厚生費	7,038	7,038	0
会議費	16,778	16,130	648
役員等旅費交通費	2,712	2,712	0
旅費交通費	6,234	6,246	△ 12
通信運搬費	369,882	335,551	34,331
什器備品費	12,960	25,120	△ 12,160
消耗品費	183,766	109,558	74,208
修繕費	16,060	63,828	△ 47,768
印刷製本費	268,128	269,676	△ 1,548
光熱水料	7,307	0	7,307
賃借料	259,333	251,856	7,477
保険料	268,149	258,409	9,740
租税公課	12,900	15,200	△ 2,300
支払負担金	198,500	256,897	△ 58,397
委託費	369,493	284,664	84,829
支払手数料	7,706	7,612	94
雑費	11,617	20,000	△ 8,383
経常費用計	319,112,344	329,454,526	△ 10,342,182
評価損益等調整前当期経常増減額	99,947	2,453,484	△ 2,353,537
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	99,947	2,453,484	△ 2,353,537
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	99,947	2,453,484	△ 2,353,537
一般正味財産期首残高	45,095,521	42,642,037	2,453,484
一般正味財産期末残高	45,195,468	45,095,521	99,947
II 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	45,195,468	45,095,521	99,947

## 正味財産増減計算書内訳表

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計		法人会計	合計
	シルバー人材センター事業	小計		
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
(1) 経常収益				
受託事業収益	287,590,603	287,590,603	4,104,099	291,694,702
受取配分金	265,448,905	265,448,905	0	265,448,905
受取材料費等	4,805,647	4,805,647	0	4,805,647
受取事務費	17,336,051	17,336,051	4,104,099	21,440,150
労働者派遣事業等受託収益	1,164,400	1,164,400	0	1,164,400
労働者派遣事業等受託収益	1,164,400	1,164,400	0	1,164,400
受取会費	825,000	825,000	825,000	1,650,000
正会員受取会費	825,000	825,000	825,000	1,650,000
受取補助金等	22,198,000	22,198,000	2,504,000	24,702,000
受取連合交付金	10,739,000	10,739,000	0	10,739,000
受取（市）補助金	10,739,000	10,739,000	2,504,000	13,243,000
受取（国）助成金	720,000	720,000	0	720,000
雑収益	0	0	1,189	1,189
受取利息	0	0	1,189	1,189
経常収益計	311,778,003	311,778,003	7,434,288	319,212,291
(2) 経常費用				
事業費	311,878,003	311,878,003	0	311,878,003
支払配分金	265,448,905	265,448,905	0	265,448,905
支払材料費等	4,548,029	4,548,029	0	4,548,029
給料手当	17,701,333	17,701,333	0	17,701,333
臨時雇賃金	5,636,776	5,636,776	0	5,636,776
法定福利費	2,836,348	2,836,348	0	2,836,348
退職給付費用	1,128,000	1,128,000	0	1,128,000
福利厚生費	32,883	32,883	0	32,883
会議費	11,313	11,313	0	11,313
旅費交通費	12,598	12,598	0	12,598
通信運搬費	1,366,271	1,366,271	0	1,366,271
減価償却費	1	1	0	1
什器備品費	35,860	35,860	0	35,860
消耗品費	444,487	444,487	0	444,487
修繕費	247,750	247,750	0	247,750
印刷製本費	667,052	667,052	0	667,052
光熱水料	439,693	439,693	0	439,693
賃借料	3,802,435	3,802,435	0	3,802,435
保険料	2,655,320	2,655,320	0	2,655,320
諸謝金	754,640	754,640	0	754,640
租税公課	1,129,200	1,129,200	0	1,129,200
組織活動助成費	366,600	366,600	0	366,600
委託費	2,513,964	2,513,964	0	2,513,964
支払手数料	98,545	98,545	0	98,545

## 正味財産増減計算書内訳表

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計		法人会計	合計
	シルバー人材センター事業	小計		
管理費	0	0	7,234,341	7,234,341
役員報酬	0	0	537,000	537,000
給料手当	0	0	4,028,332	4,028,332
法定福利費	0	0	650,446	650,446
福利厚生費	0	0	7,038	7,038
会議費	0	0	16,778	16,778
役員等旅費交通費	0	0	2,712	2,712
旅費交通費	0	0	6,234	6,234
通信運搬費	0	0	369,882	369,882
什器備品費	0	0	12,960	12,960
消耗品費	0	0	183,766	183,766
修繕費	0	0	16,060	16,060
印刷製本費	0	0	268,128	268,128
光熱水料	0	0	7,307	7,307
賃借料	0	0	259,333	259,333
保険料	0	0	268,149	268,149
租税公課	0	0	12,900	12,900
支払負担金	0	0	198,500	198,500
委託費	0	0	369,493	369,493
支払手数料	0	0	7,706	7,706
雑費	0	0	11,617	11,617
経常費用計	311,878,003	311,878,003	7,234,341	319,112,344
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 100,000	△ 100,000	199,947	99,947
基本財産評価損益等	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 100,000	△ 100,000	199,947	99,947
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 100,000	△ 100,000	199,947	99,947
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 100,000	△ 100,000	199,947	99,947
一般正味財産期首残高		0	45,095,521	45,095,521
一般正味財産期末残高		△ 100,000	45,295,468	45,195,468
II 指定正味財産増減の部				
(1) 収益				
収益計	0	0	0	0
(2) 費用				
費用計	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0
III 正味財産期末残高		△ 100,000	45,295,468	45,195,468

## 財務諸表に対する注記

### 1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に疑義はない。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

車両運搬具及び什器備品について、定額法による減価償却を実施している。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

### 3. 会計方針の変更

該当なし

### 4. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

該当なし

### 5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

該当なし

### 6. 担保に供している資産

該当なし

### 7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	5,271,155	5,271,152	3
什器備品	800,500	800,498	2
合計	6,071,655	6,071,650	5

### 8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

### 9. 保証債務等の偶発債務

該当なし

### 10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

該当なし



1 1. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
連合交付金	国	0	10,739,000	10,739,000	0	-
市補助金	市	0	13,243,000	13,243,000	0	-
助成金						
キャリアアップ助成金	国	0	720,000	720,000	0	-
合計		0	24,702,000	24,702,000	0	

1 2. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当なし

1 3. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

1 4. 関連当事者との取引の内容

該当なし

1 5. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当なし

1 6. 重要な後発事象

該当なし

## 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

該当なし

2. 引当金の明細

該当なし

# 財産目録

令和 2年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
	現金預金	現金 手元保管	シルバー人材センター事業における運転資金	451,003
			法人管理における運転資金	29,026
		普通預金 横浜銀行伊勢原支店	シルバー人材センター事業における運転資金	1,200,311
			法人管理における運転資金	35,776,974
		普通預金 中栄信用金庫伊勢原支店	シルバー人材センター事業における運転資金	0
			法人管理における運転資金	5,865,635
	普通預金 大和ネクスト銀行エビス支店	法人管理における運転資金	103,170	
	定期預金 大和ネクスト銀行エビス支店	法人管理における運転資金	3,512,542	
	未収金	請求書令和2年3月分217件他	シルバー人材センター事業における契約金額	18,675,904
	前払金	消費税	消費税中間申告	494,400
		業者支払等	シルバー人材センター事業に供する経費	39,990
法人管理に供する経費			62,407	
<b>流動資産合計</b>				<b>66,211,362</b>
<b>(固定資産)</b>				
その他の固定資産	車両運搬具	車両2台	公益目的財産であり、シルバー人材センター事業に使用している	2
		車両1台	法人管理の財産であり、法人管理に使用している	1
	什器備品	金庫他	公益目的財産であり、シルバー人材センター事業に使用している	2
	電話加入権	電話4回線	公益目的財産であり、シルバー人材センター事業に使用している	310,200
		電話1回線	法人管理の財産であり、法人管理に使用している	72,000
	預託金	車両2台	公益目的財産であり、シルバー人材センター事業に使用している	16,710
		車両1台	法人管理の財産であり、法人管理に使用している	7,650
	<b>固定資産合計</b>			
<b>資産合計</b>				<b>66,617,927</b>
<b>(流動負債)</b>				
	未払金	配分金435名(R2年3月分)	シルバー人材センター事業に供する配分金等	18,654,176
		業者支払等	シルバー人材センター事業に供する経費	2,227,192
			法人管理に供する経費	120,937
	前受金	会員年会費	R2年度新入会員年会費13人分	26,000
		その他	発注者前払金 他	83,865
	預り金	社会保険料等	職員の社会保険料等	213,429
その他		シルバー人材センター事業に供する手数料 他	96,860	
<b>流動負債合計</b>				<b>21,422,459</b>
<b>負債合計</b>				<b>21,422,459</b>
<b>正味財産合計</b>				<b>45,195,468</b>

# 監査報告書

令和2年5月12日

公益社団法人  
伊勢原市シルバー人材センター  
理事長 官川 進 殿

公益社団法人  
伊勢原市シルバー人材センター

監 事 細野 文和



監 事 飯原 和夫



私たちは、公益社団法人伊勢原市シルバー人材センターの令和元年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

## 1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、会計帳票並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて実施した。
- (2) 業務監査については、事務局から実施事業の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて実施した。

## 2 監査の結果

- (1) 公益社団法人伊勢原市シルバー人材センターの令和元年度の事業報告書の内容は真実であり、法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
- (2) 公益社団法人伊勢原市シルバー人材センターの令和元年度の計算書類及びその附属明細書は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準に準拠しており、公益社団法人伊勢原市シルバー人材センターの正味財産増減の状況及び財政状態を適正に表示しているものと認める。
- (3) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以 上